

部署紹介

医師会定期巡回みなみうわ

こんにちは！
はじめまして。なんぐん館の定期巡回みなみうわです。
平成31年1月に開設され、3年目に入りました。『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』という長い名前の事業です。これまでに累計21名の方にご利用いただき、現在は10名の方にサービスを提供しています。職員は、介護6名、看護8名です。訪問看護は一体型の体制（事業所内に配置）をとっています。

【定期巡回の特徴】

- ・短時間で一日複数回の訪問ができます。
- ・24時間、随時対応ができる体制があります。
- ・介護も看護もサービスを受けられます。
- ・月額の設定額で、デイやショートステイを利用した月は、その分が差し引かれます。
- ・随時対応があっても、追加料金はありません。
- ・介護のみ、介護看護両方どちらの利用も可能です。
- ・介護のみであっても、月に一度は看護師が訪問し、体調確認をしています。（無料です）



【事例のご紹介】

心に深く厚く残っている方がいます。
この春、ご自宅で旅立たれました。
昨年の入所中に食事がとれなくなったのを機に、自宅での生活を決めたご夫婦。
「自分の両親を看取ってくれた妻を、今度は自分が家でみてやりたい。」
定期巡回介護、訪問看護、訪問入浴、訪問診療、ショートステイ、在宅復帰入所などのサービスを利用して、老夫婦の生活が始まりました。心配していた食事は、量は少ないながらも、夫の作った煮魚の汁にとろみをつけたものを、「おいしい」と食べたり、何より、自分が主役の自宅での環境が、生きる力を与えてくれたようでした。
自分が育てたバラが咲けば、リクライニング車椅子で外に出て、女優のように写真撮影。
人生の最期の11ヶ月の月日を家で過ごすお手伝いができて、たくさんのことを学ばせていただきました。“かんしゃ” 最期に妻が夫に贈った言葉でした。
家での看取りは、大変な事も多いですが、サービスをうまく利用して、家人の余暇も大切にできたご夫婦でした。

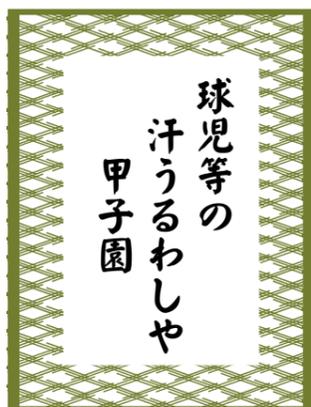


作品介绍

今月も、理水さんより作品の投稿がありました。

施設で過ごされていても夏らしい情景を切り取って詠まれていて、思わずその情景が目に浮かぶような作品です。

来月の投稿もよろしくお祈りします。



七夕まつり

7月7日、七夕祭りを行いました。
各フロアに用意された竹の笹に、皆さん思い思いに飾りつけ、自身の願いを込めた短冊を吊るしていました。



三二納涼祭



東京オリンピック・パラリンピックがコロナ禍の影響を受けながらも、1年遅れでの開催となりました。4年に1度のスポーツの祭典を心待ちにしていた利用者の方も多く、テレビの前に釘付けで各種目アスリート・パラアスリートの活躍を熱いまなざしで見入り応援しています。特に日本選手がメダルを獲得すると「頑張ったね！！よくやった！！」等声が上がり皆さんのやる気スイッチも入っているようでした。

